

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			63
活動型	身体性	機敏な・気軽な			61
	気分性	感情のまま行動			47
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			69
	規則性	常識的・順法的			51
積極型	競争性	勝気な・積極的			38
	自尊心	気ぐらいが高い			41
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮			33

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「思索・客観性」であるが、「活動・身体性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「思索・客観性」の人のパーソナリティスケッチ  
 どちらかといえば、性格的な派手さはなく地味なほうだといえる。一度はじめたことは時間がかかっても途中で投げ出すことはなく、持続させていくことができる。努力を信条としていて、自分が納得いくまで取り組まないと気がすまない性分であり、何事も徹底的に追求しようとする。そして、自分なりに確たる信念や社会通念を持っているのだが、規則や秩序に対して頑固にこだわるというほどではない。発想は堅苦しいものばかりではなく、ユニークさも持ちあわせていて、独自の価値観のもとで自発的、自主的な組立をして考え判断する。また、思い立ったらすぐ実行に移すという身軽さより、物事は自分の納得がいくまでじっくりと考えてから行動する。決して自己の世界に閉じこもり暗いという印象はなく、社会性も持ちあわせている。交友関係もほどほどにあり、考え方も現実的で自分なりに社会的アンテナも張っている。自分を深く内省していて、豊かな内面性をもっている。そして、客観的なものの見方ができ、正確に状況を把握しようとする。

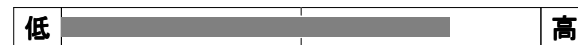
●もう一方の性格特性  
 精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもっている。暗い影のようなものがなく、明るい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			52
客観・科学型			47
社会・経済型			42
心理・情緒型			40
審美・芸術型			62

人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。  
 芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			52
協調性			61
責任感			71
自己信頼性			53
指導性			56
共感性			63
感情安定性			61
従順性			52
自主性			44
モトリアム傾向			30

仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。  
 任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。

皆の意見や考えを大切に、協同作業などは熱心である。  
 比較的気持ちが安定していて、多少の事では動揺しない。

今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			60
自律 欲求			46
求知 欲求			51
危機 耐性			76
勤労 意欲			61
顕示 欲求			60
支配 欲求			49
親和 欲求			58
秩序 欲求			64
物質的欲望			57

困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。

全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。

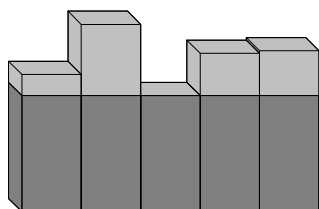
仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

環境の中で実力を発揮し、それを皆に認めてもらいたい。

支配関係や価値観など、周囲の状況を整理しておきたい。

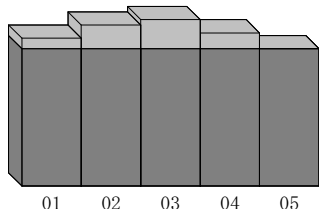
■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。逆に「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

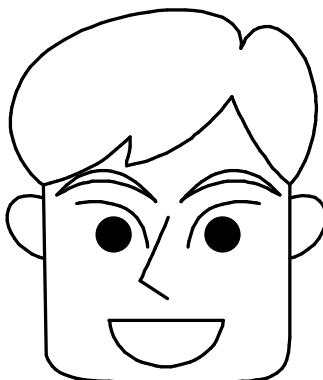
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性  
 瞳の直径：達成欲求  
 鼻の高さ：顕示欲求  
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性  
 目の傾き：達成欲求+求知欲求  
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型  
 エラ顔 = 積極型  
 細長顔 = 自制型

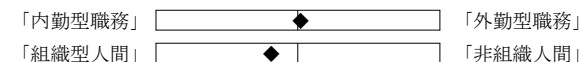
丸顔 = 活動型  
 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	67
(2) 海外など精神力の必要な職務	63
(3) 足腰のよさが武器になる職務	58
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	63
(5) 標準化された仕事や工場労働	73

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「最適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (3) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (4) 「適切」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」基礎研究管理者
- (2) 「適切」基礎研究者
- (3) 「適切」人事管理者
- (4) 「適切」秘書専任者
- (5) 「適切」企画専任者
- (6) 「適切」営繕専任者

《低い順》

- (1) 「適切」研究開発者
- (2) 「適切」研究管理者
- (3) 「適切」営業専任者
- (4) 「適切」広報専任者
- (5) 「適切」企画管理者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」庶務
- (2) 「最適」物流
- (3) 「最適」営業アシスト
- (4) 「最適」広報
- (5) 「最適」総務
- (6) 「最適」秘書

- (1) 「適度」顧客開発
- (2) 「適度」購買
- (3) 「適度」研究開発
- (4) 「適切」営業（積極タイプ）
- (5) 「適切」経営企画

